



なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp

Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンター
にお問い合わせください
(☎894-3737)

みんなでフェスティバルに参加しよう!

第26回

11月12日(日) 午前10時～ (オープニングセレモニーは9時45分)

雨天の場合は屋外ステージのアトラクションは館内ふれあいホールで時間を変更して実施されます。

当日午前7時現在、交野市に暴風・洪水・大雨警報のいずれかが発令されている場合は、フェスティバルは中止となります。

ボランティアグループ連絡会から、3つの模擬店をはじめ、高齢者疑似体験、V連絡会所属グループの活動パネル展示、その他にもグループ独自の出展で健康福祉フェスティバルに参加しています。私たちのボランティア活動を市民のみなさんに広く知っていただく絶好の機会です。ボランティアみなさんの積極的な参加をお願いします。

交野市健康福祉フェスティバル

ボランティアグループ連絡会から、3つの模擬店をはじめ、高齢者疑似体験、V連絡会所属グループの活動パネル展示、その他にもグループ独自の出展で健康福祉フェスティバルに参加しています。

ボランティアグループの出店(展)一覧

- 屋外「ふれあい広場」10:00~15:00 水餃子・おにぎり 「Vグループ連絡会」
- 本部バザー 「Vグループ連絡会」
- 植木市 「Vグループ連絡会」
- 手作り介護用品&バザー 「糸ぐるま」

屋外ステージ

- 11:30~ いきいき歌体操「HAND」
- 13:00~ 車いすダンス「ひまわり」
- ゆうゆうセンター館内10:00~15:00
- 2階 手作りおもちゃづくり 「玉手箱」
- 3階 高齢者疑似体験 「Vグループ連絡会」
- 介護衣料作品の展示 「糸ぐるま」
- 対面朗読 朗読「あい」
- 点字体験 点訳「虹の会」

11月は「児童虐待防止推進月間」です

「標語」あなたの「もしや?」が子どもを救う
子どもの生命が奪われたり、危険にさらされる事件が後を絶ちません。また児童虐待に関する相談件数も急増しています。

「あなた」からの児童相談所や市町村への連絡が、子どもを虐待から守るための大きな一歩となります。「虐待を受けたと思われる子ども」を見つけたときには、「関係が悪くなるかもしれないし・・・、虐待かどうかわからないし・・・」など、ためらわずに子どもを虐待から救うための行動(連絡)を起こすことが重要です。

児童相談所全国共通ダイヤル
0570-064-000



ボランティアを始めたきっかけは?

「アリス」には十八年前、広報のボランティア募集の記事を見て、明るい雰囲気即、仲間に見え、当時は利用者が多く、地域別で行われ、クリスマス会は多目的ホールで開催。「こどもゆうゆうの親子と抽選で当たった親子が、共に楽しいひとときを過ごしたことも…。懐かしいですね。」

先日、見学に三人の方が来られ、アリスに入ってくださいました。仲間が増えて嬉しかったです。

大所帯「あい」にびっくり「あい」には諸事情で、「アリス」に行けない九年前、近所の方に朗読講習会のチラシをいただき、読み語りが上手になればとの軽い気持ちで受講しまし

た。終了後に入会。

四十人以上の方がおられ、びっくり。活動内容も盛りだくさん。専門的知識・技術も必要なので、甘かったと反省です。それでも、活動しているのは、仲間たちの「音訳」への情熱に感動し、少しでもお役に立てればとの思いからです。ボランティアを続けられているのも応援してくれる主人のお陰です。

趣味は…

読書です。夢中になって他の事が出来なくなるので、主人が留守の時とか、通院の待ち時間に読む様になっています。ほしおさなえ著の「活版印刷三日月堂」ポプラ社はお推めです。

これからは…

今、パソコンを習っています。遅々たる歩みで、ため息が出ます。唯一の成果は、パソコンが怖くなくなった事です。来年度からはデジタル編集が出来る様に…と頑張っています。

リーダー会議
(10月24日)

☆連絡会より

- 第26回健康福祉フェスティバル(ふれあい広場) 参加要項
 - ① 役員の担当及び模擬店等の担当について
 - ② 模擬店応募ボランティアと配置について
 - ③ 高齢者疑似体験実施要項
 - ④ V連活動パネル展示
 - ⑤ 当日のVセンター開錠時間は午前8時30分
 - ⑥ その他の事項について
- ・高齢者疑似体験事前準備と演習について
- ・Vセンター秋の大掃除について (2面参照)
- ☆Vセンターより
- 赤い羽根共同募金について
 - Vセンターの土日利用について、施設時にセンターが無人にならないようご注意ください
 - ・フリースペース点検票作成、利用に当たってのお願い
 - ・避難所運営訓練について
- 11月19日(日) 第4中学校グラウンドで10時~13時
☆各グループから(省略)

編集後記

第48回衆議院議員総選挙が終わった。

「大義なき解散、森友・加計隠し」と揶揄されたが、衆院選直前の民進党・希望の党のドタバタ劇は野党の足並みの乱れとなった。

その結果、比例代表の全国政党別得票数を見比べると、自民党の約1852万票に対し、立憲民主党が約1107万票、希望の党が約966万票で、この野党2党を合計すると自民党をしのぐ善戦であるが、小選挙区では、与党と三つどもえになった選挙区での野党の勝率は約2割にとどまり、自民党が漁夫の利を得た総選挙と言えよう。

選挙の結果を踏まえ、安倍首相は自民党総裁として「今まで以上に謙虚な姿勢で、そして真摯な政権運営に全力を尽くさなければならぬ」と、自民党の大勝におごらず、国民目線で政治を進める、という意思表示なら、ぜひそうであってほしいものだが・・・。

また野党の立て直しも急務で自民党と対等に涉り合える野党の出現が待望される。(竹トンボ)

妙見坂小学校でアイマスク体験 四年生を対象に朗読グループ「あい」が指導

10月6日(金)、4年生64人がアイマスクをして、朗読を聞いたり、二人一組になってアイマスクの友だちを誘導しながら校内を歩きまわった。また、身近にあるユニバーサルデザインの物(シャンプーボトルや牛乳パック、硬貨やリモコン)などにも触ってみました。視覚障がい者の方がアイフォンを使って文字を音声化する様子を目の当たりにした児童たちは興味津々でした。

球の中に入っているものの音を聞いて、音卓球やテニスなどのスポーツも楽しめることなども紹介しながら、いかどこかで今日の体験が活かされることを願って、妙見小学校を後にしました。(H)



ユニバーサルデザインの説明に聞き入る児童たち

**ボランティアセンター
秋の大掃除 11月20日(月)**
ボランティアセンターの大掃除を下記の通り実施します。センター登録のみなさんご協力ください。
日時 11月20日(月) (雨天決行)
10時~11時30分
当番グループ あい、ほほえみ、ふれんズ、糸ぐるま、HAND、ひまわり、玉手箱

OSAKAボランティア手帳 申し込みご案内

使用期限 H29.12~H32.3(2年間)
価格 300円
予定数 40冊(先着順)



申込先 ボランティアセンターまで
代金(お釣りなし)を添えて申し込んでください。

※グループで申し込まれている方は申し込みは不要です。

「お互いさん」の

交野のまちづくり講座がスタート

10月31日(火)、お互いさんの交野のまちづくり講座がゆうゆうセンターで開催されました。高齢化社会の到来で、互いに支え合える住環境を住民の「できる」目線で考えていこうとの試みではじまりました。

第一回目は、交野市における現状と題して地域包括支援センター長の村上氏から「介護予防・予

防・日常生活支援総合事業」について、取り組み状況と生活支援コーディネーターの設置等が報告されました。

次いで生活支援の事例報告として「交野市シルバー人材センター」の取り組みと事業紹介、私市小学校区福祉委員会の「お手伝いクラブ」活動がそれぞれ報告されました。今後は具体的なテーマ

に基づく講座が開催され、いろんな事象や課題に対応できる人づくり講座が予定されています。

**11月の講座
認知症について学ぼう**

認知症の基本的な知識や対応方法についてお話します。この講座では認知症サポーターとして活動していただける方を募集します。

日時 11月30日(木)
13時30分~15時30分
場所 ゆうゆうセンター
2階(体験学習室・お年寄り健康教室)
参加費 無料
定員 50人
講師 認知症地域支援推進員 田中 歩氏
申込み・問合せ
交野市社会福祉協議会
(担当:今井・南部)
電話 072-895-1185
FAX 072-895-1192

新入会員の歓迎昼食会

点訳「虹の会」

「虹の会」では、10月4日、活動日のお昼に新会員3人の歓迎を祝い、仕出し弁当でささやかな会食の時をもちました。ここしばらく新会員の加入が途切れていましたが、今年2月から6人の会員増で活動にも活気が出てきました。新会員のおひとり手話も勉強中で、手話で滑らかな自己紹介をされ、拍手喝采の場面もありました。

そして先輩会員から「何より家庭生活が一番ですから、



談笑する新入会員のみなさん

無理せず、細く長く続けられますように」とのアドバイスもあり、和やかな歓迎のひとときとなりました。

(虹の会・N)

アリスにも 新入会員が

子育て広場「アリス」に仲間が三人増えました。見学から即入会くださいました。活動日が第1週と第3週の木曜日ですから、各週とも一人増えるの活動になります。

来春から幼稚園(3歳保育)に通うS君。一人でトイレに行けま



みんなの広場

冬が近づき空気が冷え込み始めると、急に風邪をひく人が増える。では北極や南極のように極端に寒いところでは、どうやって風邪を予防しているのだろうか、実は予防も何も、北極や南極では、風邪を引くことがないという。あまりにも寒いので、「風邪のウイルス自体が生存できないから」という。「雑学本」に学ぶ

北極や南極では風邪をひかない

お互いさんの交野のまちづくり講座案内

12月の講座 お出かけ「介助技術について学ぼう」

ご近所さんの暮らしに寄り添う技術講座(車いす・高齢者疑似体験)をうけてみませんか。外出に携わっている移送サービスの「運転ボランティア・外出サポーター」、外出介助「かざぐるま」のボランティアさんの活動紹介もあります。

日時 12月5日(火) 13:30~15:30

場所 ゆうゆうセンター3階 研修室

参加費 無料 定員 30人

申込み・問合せ 交野市社会福祉協議会

電話 895-1185 Fax 895-1192



ドローンでカラスやサルを撃退



ドローンについて災害時における被災地の実情把握や僻地への宅配便などへの利用が始まっているが、テレビで山形県ではカラスの撃退にドローンを使ってカラスの鳴き声を流しながら別の場所にカラスを誘導するという試みが報道されていた。また岐阜県・美濃加茂市では、ドローンで市歌を流しながら、猟銃とロケット花火で「サル」を一掃したという、今後は「人里との境界線をサルに認識させ住民と共存する環境をつくりたい」とのニュースが新聞報道された。

ドローンの利用がこんなに多方面に広がっているのには少し驚いた。(K)